

JTAA-KANTO 2021

関東支部 会員集会

A CONFERENCE OF JTAA KANTO

2021年5月16日(日)

Zoom 開催

<2020年度の活動報告・2021年度の活動計画>

2020年度

- I. 支部活動の一般報告
- II. 各部会報告
 1. 普及部会
 2. 研修部会
 3. 指導会員部会
 4. 会員活動部会
 5. 広報部会
 6. TAカレッジ部会
 7. 組織運営部会

2021年度

- I. 支部活動方針
- II. 各部会活動計画
 1. 普及部会
 2. 研修部会
 3. 指導会員部会
 4. 広報部会
 5. TAカレッジ部会
 6. 組織運営部会

「参考」理論講座・各種講座 実績一覧表、理論講座等計画一覧表

<2020年度の収支報告・2021年度の収支予算>

- I. 2020年度収支報告および2021年度収支予算
- II. 貸借対照表
- III. 監査報告

<支部運営委員・監事名簿および機構図>

- I. 支部運営委員・監事・顧問名簿
- II. 2021年度 関東支部機構図

「参考」関東支部県別・資格別会員数

2020年度活動実績 および 2021年度活動計画

【2020年度の活動報告】	【2021年度の活動計画】
<p>I. 支部活動の一般報告</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、上期は予定した講座を開催することができませんでしたが、6月以降にZoomを活用したWeb講座に変更し、開催いたしました。新たな試みでしたが、関東支部以外からも受講いただき今後の講座開催の拡大を図るためのきっかけを得ることができました。</p> <p>支部主催2級・1級資格講座の受講者の増加に向け支部の課題はありますが、下期に2級講座を2回、1級講座を1回開催することができ、新たな会員獲得に繋がりました。また、新たに2級講座を担当する講師も増やしたことにより、講師層を厚くすることができました。</p> <p>TAカレッジを1県に最低1か所立ち上げの目標のもと、開設のなかった千葉県にて2か所立ち上げることができました。また、TAカレッジを増やすことが支部の重要なミッションとなり、TAカレッジ開設を目指す指導員に情報提供や勉強会を行う部会が必要と考え、TAカレッジ部会を新設しました。</p> <p>財務状況については、部会ごとに収支バランスの改善に向けた取り組みを行ったことにより、赤字幅を抑えることができました。</p> <p>II. 各部会活動報告</p> <p>1. 普及部会</p> <p>普及推進活動</p> <p>1) 県別紹介講座</p> <p>県別紹介講座を次のとおり、1回実施し、8名の参加がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月 長野県 <p>※新型コロナウイルス感染症拡大により、対面講座を実施することが困難な状況により、2020年度は複数の県別紹介講座を開催することができませんでした。</p> <p>2) 入門講座</p> <p>① 交流分析を初めて学ぶ方を対象に入門講座を4回開催し、合計30名の参加がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対面講座 11月 10名、 ・Zoom講座 11月 7名、12月 6名、2月 7名 <p>② テキストとして「現代の交流分析（基礎）」を使用し、対面講座は1日コースで5時間、Zoom講座は2時間30分で実施しました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大により、対面講座を実施することが困難な状況を考慮して、Zoom講座を新設することにより3回のZoom講座を開催し、20名の参加者を確保することができました。</p> <p>2. 研修部会</p> <p>研修会企画・運営の充実の取り組み結果について</p> <p>① 最初の理論講座はコロナ禍により開催ができませんでしたが、6月よりZoomを利用した開催に切り替え、予定していた理論講座を全て実施することができました。</p> <p>② 理論講座の周知について、HP・メールマガジン（以降、メルマガ）・チラシ及び各研修会等で告知を行いました。</p> <p>③ 交流分析理論の実践的な活用を企画し、「With コロナの時代」、「エゴグラムの読み方・基礎編」、「エゴグラムの読み方・応用編」、「TAマインドフルネス」、「TAを活かして豊かなキャリアデザイン」、「自我状態の迷宮」講座を実施しました。</p> <p>④ 交流分析をさらに深める理論研修として、特別セミナー「本物の感情とラケット感情」を2日間コースで実施しました。</p> <p>⑤ 初めて取り組んだZoomでの理論講座は当初は運営等に不安もありましたが、受講いただいた会員の皆様にご協力いただいたこともあり、大きな混乱もなく実施することができました。</p>	<p>I. 支部活動方針</p> <p>交流分析の普及について引き続き、県別紹介講座、出前講座の充実を図り一層の取り組みを進めます。そのためには、ホームページ（以降、HP）やFacebook等を活用し、視覚に訴えることを継続し、充実していきます。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない現状を踏まえ、支部主催の講座も原則Web講座を主体に計画し、開催していきます。3密を回避した安心・安全な環境のもと、多くの会員に受講してもらえるように企画してまいります。</p> <p>TAカレッジは25か所から32か所に増えましたが、まだTAカレッジの立ち上げが行っていない県に対しては、受講者が関東エリアどこでも受講できるように、TAカレッジ開設に向け取り組んでまいります。</p> <p>2020年度は何とか黒字決算となりましたが、支部主催2級・1級資格講座の受講者減少による収入減と会場費など支出のバランスが釣り合いなことから、引き続き財政の改善に取り組み、収支バランスを意識した組織運営を行います。</p> <p>II. 各部会活動計画</p> <p>1. 普及部会</p> <p>普及推進活動</p> <p>引き続き『交流分析および協会の社会的認知度の向上を進めます』</p> <p>1) 交流分析県別紹介講座をより多くの県で実施できるように、各県のインストラクターの方と連絡を取りながら新会員獲得と既存会員同士のコミュニケーション向上を図ります。</p> <p>今まであまり開催の少なかった県で実施することを目標とします。</p> <p>2) 交流分析を分かりやすく学べる入門講座を下記のように実施し普及を図ると共に、TAに興味を持ってもらい、2級講座の受講に繋がるような入門講座にしていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対面講座 7月11日、10月2日（2回開催予定） ・Zoom講座 5月23日、9月18日、11月28日、2022年1月23日（4回開催予定） <p>テキストとして「現代の交流分析（基礎）」を使用し、対面講座は1日コースで5時間、Zoom講座は4時間で実施します。</p> <p>3) 他の部会との連携を強化し、紹介講座、入門講座の質を高め、HPやSNSを媒体とした宣伝に注力することで受講者数の増加を図り、新規会員の獲得を促進します。</p> <p>2. 研修部会</p> <p>理論研究活動</p> <p>『会員の皆さんの理論研究活動に役立つような、研修企画・運営の充実を図ってまいります』</p> <p>① 今年度も新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しながらZoomでの開催を中心に実施します。各理論講座の内容や実施時期を早めにお知らせすることでより多くの方に受講いただけることを目指します。</p> <p>② 新たな企画として‘20年度で好評を得ました「TAマインドフルネス」を6回シリーズで開催する理論講座を設けました。途中からの参加も可能です。少しでも多くの方にTAを深掘りし日常生活に活かせるきっかけを提供いたします。</p> <p>③ 認定試験の支援を行いません。</p>

【2020 年度の活動報告】

3. 指導会員部会

『指導会員の理論研究・スキルアップを目指した相互研修会を進めます』の方針に基づき活動を進めました。

新型コロナウイルス感染症のまん延により、一部の日程変更や Zoom によるオンラインでの活動となりました。

- ① インストラクター定例会を、9月13日(小林雅美教授)、2月28日(井手之上准教授)と2回開催いたしました。
- ② インストラクター資格更新研修会を、8月16日(下平久美子教授)、3月20日(川合由美子教授)と2回開催いたしました。

4. 会員活動部会

会員活動部会発足10年の一区切りとして、活動自体を見直す年とした。

1) サークル活動について

- ・既存の4サークルについて今後の方向を確認。
TAセラピーメイク、TAカウンセリング、教育の各サークルは、自主活動としてスタートすることになった。その背景として各サークルは年数を経て、自立したサークルとして自主的に進められるとの回答だった。家庭サークルは、人員の確保が難しく解散となった。
- ・数年に渡って新規サークルの募集を呼び掛けてきたが、新規立ち上げるところまでには至らなかった。
- ・コロナ禍にあり、集ってサークル活動を進めることも難しく、また、財政がひっ迫している状況下で支部がサークルを支えていくにあたり負担感があり、ここでサークル活動自体を解散することになった。
- ・HPにて会員が自由に見られるよう、サークル活動の記録を掲載した。

2) 自主勉強会について

各自主勉強会にアンケートを取り、現在の活動状況とこれからの方向を確認した。区切りをつける自主勉強会や新規立ち上げた自主勉強会など含めて、新しくHPに掲載した。自主勉強会の支援は、会員活動支援委員会にて引き継ぐことになった。

5. 広報部会

HPの改善活動について下記の項目について取り組み、実現しました。

- ① 会員の皆様のご協力のおかげでコロナ禍の中でも支部講座等を実施でき、HPの運用も概ね順調に行えています。
- ② HPからの講座・研修会の申し込みやクレジットカードによる支払いなど、申し込みやすく支払いやすいHPの実現に取り組みました。
- ③ 各部会との連携を強化し、スピーディーなHPの更新やメルマガ等を通じて活動を支援しました。
- ④ 領収書をダウンロードできるようになりました。
- ⑤ アンケートがWebでできるようになりました。
- ⑥ 書籍の注文・支払いもHPから可能になりました。
- ⑦ 実際の運用はこれからですが非接触型の受付方法などが使用できるようになりました。
- ⑧ Zoomのプロアカウントを取得し部会内でトレーニングしたうえで、各部会に対してWeb講座を行うトレーニングを実施しました。
- ⑨ 新型コロナウイルス感染症拡大の状況下でも継続的な会員の学びの機会を提供することが可能になりました。
- ⑩ メルマガの内容の充実と定期発行に取り組みました。
- ⑪ メルマガ・HPを通じて会員からの投稿・応募など、会員参加型・双方向型の広報の実現に取り組みました。
- ⑫ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため「まんがでわかる交流分析」の続編の作成、電子書籍の研究は進みませんでした。
- ⑬ 予期せぬ自然災害などへの対策として、スムーズな引き継ぎのため、委員の複数分担制を進めました。

【2021 年度の活動計画】

3. 指導会員部会

『指導会員としてのスキル向上・理論研究の推進を目指します』

インストラクター定例会を年2回開催いたします。インストラクターとしての必要な知識や能力を再確認し、確実に実力が身につく定例会を開催していきます。

一人でも多くの方が定例会に参加できるように受講環境の整備や運営にも力を入れていきます。新型コロナウイルス感染拡大に負けない運営とインストラクターとしての気づきのスキルアップにもつながるようにしていきます。

4. 2020 年度にて「会員活動部会」は解散

自主勉強会の支援については、活動支援委員会（組織運営部会 兼務）において継続支援する。

5. 広報部会

『会員の皆様に情報が早く・正確で・わかりやすく・使いやすいカタチで届くように改善を続けます』

更に使いやすいHP・メルマガを提供し、Web講座やSNSなどインターネット・コミュニケーションを活用した会員サービスの充実や一層のペーパーレス化など支部運営の合理化に寄与します。

- ① より使いやすいHPとなるよう、常に改善していきます。
- ② 各部会との連携をより強化しその活動を支援します。会員の皆様への広報を通じて各部会の活動をサポートします。
- ③ TA カレッジの開設・受講生募集をより使いやすくし、新規会員の増加に貢献します。
- ④ たとえ新型コロナウイルス感染症が収束してもリモートの流れは益々進むと考え、Web講座・申し込み・受講が順調に進むよう、システムの改善に努めます。
- ⑤ メルマガの内容の充実と定期発行に取り組みます。
- ⑥ 関東支部に保存されている過去の「会報」など、価値ある文書や記事類を随時閲覧できるよう、電子書籍化やダウンロード方式などの検討・研究を進めます。
- ⑦ 「まんがでわかる交流分析」の続編の作成を進めます。
- ⑧ 会員からの投稿・応募など、会員参加型・双方向型の広報を目指していきます。
- ⑨ 予期せぬ自然災害などへの対策として、またスムーズな引き継ぎのため、引き続き委員の複数分担制を進めます。

【2020 年度の活動報告】

6. TA カレッジ部会 (2020 年 7 月に部会新設)

2020 年度 期中に TA カレッジ開設を目指す指導会員の支援や各種情報提供する部会として、TA カレッジ部会を新設しました。

コロナ禍で、対面での講座開講が困難になったため、Zoom でも対応できるよう下記の勉強会を開催しました。

各回、1 時間 30 分で Zoom にて実施

- 第 1 回 10/25 【TA カレッジを Zoom で実施する場合の対応を学ぶ】 参加者 10 名
 - 第 2 回 12/13 【TA カレッジを Zoom で実施する場合の対応を学ぶ】 参加者 5 名
 - 第 3 回 2/21 【TA カレッジの開催を目指す方の勉強会 Zoom 操作編】 参加者 8 名
 - 第 4 回 3/14 【TA カレッジの開催を目指す方の勉強会 受講者の募集方や運営について】 参加者 15 名
- 「関東支部作成の Zoom でホストをする際のマニュアル」を作成し、HP に掲載致しました。

TA カレッジの勉強会の参加者から 3 つの TA カレッジが立ち上がりました。

7. 組織運営部会

全般的に新型コロナウイルス感染症拡大による厳しい環境下ではありましたが、下記の項目について取り組みました。

1) 資格講座充実の取組みについて

基本となる対面式講座の開催が厳しかった状況下で、3 密対策の実行・Zoom の活用にて資格講座、認定試験等を開催して該当する多くの会員を支援しました。

支部主催 1・2 級資格講座：3 回/年開催 1・2 級認定試験、インストラクター受講資格試験：年 2 回開催

2) 実践活動周知対策の強化について

会員活動報告集第十集については、2020 年度も支部主催の理論講座参加報告書や感想文を掲載して発行し、会員活動の紹介に加え、感想文作成者の紹介を兼ね開催講座の報告を行うことが出来ました。ペーパーレス化により経費節減にも寄与しました。 投稿原稿数：8 件 理論講座感想文等：13 件

3) 社会貢献活動の取組みについて

上期はコロナ禍の影響で活動を自粛しましたが、3 月に出前講座 (2 団体)、および、受託講座 (1 団体) を行いました。

4) 支部活動の強化と財政赤字の改善への取組み

・コロナ禍により対面型の運営委員会、副支部長会議が開催出来なくなりましたが、Zoom を活用して効果的に会合を開催し、結果として運営委員の出席率も向上したことで、情報共有が密に行えました。

運営委員会 10 回開催 副支部長会議 6 回開催 (電子メール会議含む)

・2019 年度からの赤字財務状態を改善するため、6 月に監事を含めた財務改善プロジェクトチームを発足させ、事業活動の内容を検証し、各部長が費用対効果を勘案しながら予算と収入を意識した活動が行えるようになり、2020 年度の黒字化に寄与することが出来ました。

財務改善プロジェクトチーム会合 6 回

・Zoom 会議の促進により、運営委員の交通費が不要となり、また、活動費の返上により支部の経費節減に寄与しました。

【2021 年度の活動計画】

6. TA カレッジ部会

より多くの TA カレッジが開設されるよう、様々なサポートを進めて参ります。

- ・TA カレッジ運用ルールの周知
- ・TA カレッジの運営管理・サポート
- ・TA カレッジ開設希望者への説明会実施、相談、勉強会開催
- ・TA カレッジ受講希望者への各種案内・サポート
- ・要請があれば、他支部への TA カレッジ運営のサポート

7. 組織運営部会

『会員のメリットを追求し、効率的で効果的な運営を目指します』

1) 資格講座充実の取組みについて

喫緊の課題である 2 級・1 級資格講座の受講者増に向けての対策については、引き続き TA への関心度アップにつながるよう入門講座・県別紹介講座の取り組み強化を通じ 2 級講座の受講者増につなげ、さらに、1 級講座の受講者増については、TA のみにとどまらず周辺理論全般に視野を広げた学習意欲の喚起につながるよう努めます。

2) 実践活動周知対策の強化について

会員活動報告集への投稿者の拡大と内容充実に取り組むため、9 月に「活動記録の書き方講座」を開催いたします。自主勉強会の支援にも継続して取り組みます。

3) 社会貢献活動の取組みについて

出前講座 (公的機関、教育・福祉団体等を対象、無料) および受託講座 (一般企業等を対象、有料) を推進し、職場、学校、地域等への普及に取り組みます。

4) 「北海道エリア」の取組みについて

理論研究と交流の機会拡大を目指した活動支援を行います。

- ・研修会講師の調整と派遣、自主勉強会の支援など

5) 支部活動の強化と財政赤字の改善について

- ① 事業活動の内容を検証し、費用対効果を勘案しながら実施します。
- ② 交流分析の普及に向けた支出については計画的に実施します。
- ③ 運営委員会、副支部長会議の Web 会議方式 (Zoom) での開催を推進し、活動費の返上とともに、会場費や交通費の経費節減に努めます。
- ④ 発行する冊子や報告集などの電子化閲覧を推進し、印刷費を削減し財務改善に寄与します。
- ⑤ 新たな顧客を開拓し、受託講座を増やして収入拡大を推進します。

2020年度 県別紹介講座・出前講座等の内容一覧

2020.4.1～2021.3.31

県別紹介講座

NO.	開催日	会場	テーマ	参加人数	時間
1	2020/11/3	リサイクルプラザ2階会議室 (長野県長野市松岡)	苦手な人との会話から自分のこころの働きに 気づこう	8	2H
合 計 (1 件)				8	

出前講座

NO.	開催日	会場	テーマ	参加人数	時間
1	2021/3/9	埼玉県新座市野火止公民館	人にやさしく、自分にやさしくなるための心理学	12	1.5H
2	2021/3/24	神奈川県茅ヶ崎市立松林中学校	土曜学習応援団 講座	197	2H
合 計 (2 件)				209	

受託講座

NO.	開催日	会場	テーマ	参加人数	時間
1	2020/9/2	山梨県自治会館 視聴覚室	交流分析を生かした他者理解	21	1.5H
2	2021/3/13 ・3/20	日本産業カウンセラー協会 北関東支部(Zoom開催)	交流分析 入門講座	14	12H
合 計 (2 件)				35	

2020年度 TAカレッジ開催内容一覧

2020.4.1～2021.3.31

NO.	開催期間	TAカレッジ名称	講座	開催日数	受講者数
1	2020/4/18～2020/8/8	TAカレッジ藤沢	2級	8日間	2
2	2020/6/14～2020/9/6	TAカレッジ上大岡	2級	6日間	1
3	2020/9/5～2020/9/26	TAカレッジ足利	2級	6日間	1
4	2020/9/26～2021/1/17	TAカレッジ大倉山	2級	6日間	1
5	2020/10/11～2021/2/21	TAカレッジ田町	2級	6日間	5
6	2020/11/29～2021/5/19	TAカレッジ伊那	2級	7日間	2
7	2020/11/29～2021/2/14	TAカレッジ藤沢村岡	2級	6日間	4
8	2020/11/30～2021/2/24	TAカレッジ浦和	2級	10日間	2
9	2021/1/8～2021/2/24	TAカレッジ栃木	2級	6日間	1
10	2021/1/10～2021/3/6	TAカレッジ大倉山	2級	6日間	1
11	2021/1/10～2021/3/6	TAカレッジ新橋	2級	6日間	7
12	2021/1/31～2021/7/18	TAカレッジ塩尻	2級	7日間	7
13	2020/12/5～2021/2/14	TAカレッジ金沢八景	1級	6日間	2
14	2020/12/20～2021/7/18	TAカレッジ塩尻	1級	8日間	12
合 計					48

2020年度 理論講座・各種講座 実績一覧表

2020.4.1～2021.3.31

NO.	講 座	期 間	開催形態	受講者	備 考
1	2級講座 前期	5月～7月	日曜コース	0	開催中止
2		8月	集中コース	8	
3	2級講座 後期	10月～12月	土曜コース	5	
4		12月～1月	集中コース	0	開催中止
5	1級講座 前期	6月～7月	土曜コース	0	開催中止
6	1級講座 後期	12月～2月	集中コース	9	
7	インストラクター養成講座 前期	6月～7月	A クラス	0	開催中止
8	インストラクター養成講座 後期	12月～1月	A クラス	0	開催中止
9	1・2級認定試験（東京）	9月	土・日曜日	31	1級:9名、2級:22名
10	インストラクター受講資格試験(東京)	9月	日曜日	1	
11	1・2級認定試験（長野）	10月	土・日曜日	18	1級:4名、2級:14名
12	インストラクター受講資格試験(長野)	10月	日曜日	3	
13	1・2級認定試験（東京）	3月	土・日曜日	39	1級:12名、2級:27名
14	インストラクター受講資格試験(東京)	3月	日曜日	2	
15	理論講座(エゴグラムの読み方・基礎編)	6月	1回	14	
16	理論講座(エゴグラムの読み方・応用編)	11月	1回	13	
17	活動報告の書き方講座	9月	1回	0	開催中止
18	理論講座(Withコロナの時代)	9月	1回	23	
19	理論講座(TAマインドフルネス)	12月	1回	18	
20	理論講座(TAを生かして豊かなキャリアデザイン)	2月	1回	16	
21	理論講座(自我状態の迷宮)	3月	1回	20	
22	特別セミナー(本物の感情とラケット感情)	10月	2回	28	2日間延べ人数
23	インストラクター定例会	9月・2月	年2回	69	9月:31名、2月:38名
24	交流分析 入門講座(対面・Zoom)	11・12・2月	年4回	30	対面:1回、Zoom:3回
25	県別紹介講座	4月～3月		8	1件(長野県)
26	出前講座	6月～2月		209	2件(新座市、茅ヶ崎市)
27	受託講座	6月～2月		35	2件
	合 計			599	
参考	インストラクター資格更新研修会	8月・3月	(本部主催)	104	8月:69名 3月:35名

2021 年度 理論講座等計画一覧表

2021 年 5 月 9 日現在

開催日時	研 修・講 座	ポイント
5月16日(日) 13:30~16:30	理論講座:「ドライバーと脚本の活用」(Zoom) 講 師:交流分析士准教授 綱島 康高	1.0
6月5日(土) 10:00~16:00	理論講座:「エゴグラムの読み方・基礎編」(Zoom) 講 師:交流分析士インストラクター 石川 任	1.0
8月22日(日) 10:00~16:00	理論講座:「エゴグラムの読み方・応用編」(Zoom) 講 師:交流分析士インストラクター 秋山 壽美雄	1.0
8月28日(土) 10:00~16:00	★インストラクター資格更新研修会【本部主催】 内 容:「調整中」 講 師:未定 (3年に1回必須)	2.0
9月4日(土) 13:30~16:30	活動記録の書き方講座 (Zoom) 講 師:交流分析士インストラクター 富岡 達也	1.0
9月18日(土) 10月23日(土) 11月27日(土)※ 12月18日(土) 1月22日(土) 2月19日(土)※ 9:30~12:00 ※13:30~16:00	理論講座:「TA マインドフルネス」(Zoom) 講 師:交流分析士准教授 井手之上 修	各回 1.0
9月23日(木)祝 10:00~16:00	理論講座:「人生の立場の迷宮~対象関係論から紡ぐ~」(Zoom) 講 師:交流分析士准教授 下川 完平	1.0
10月30日(土) 10:00~16:00	★インストラクター定例会 内 容:「企画中」	1.0
12月5日(日) 10:00~16:00	講座:「調整中」【本部主催】(対面式の予定) 講師:島田 涼子先生	1.0
2月26日(土) 10:00~16:00	★インストラクター定例会 内 容:「企画中」	1.0
3月20日(日) 10:00~16:00	★インストラクター資格更新研修会【本部主催】 内 容:「調整中」 講 師:未定 (3年に1回必須) ※ 8/28と同じ内容です。8/28に受講済みで再度受講する場合 のポイントは「1.0」となります。	2.0
特 別 セ ミ ナ ー		
11月13日(土) 11月14日(日) 10:00~16:00	講座:「人格適応論の深耕」(Zoom) 講師:鈴木 佳子先生(東京経済大学)	各1.0

※ 受講証は発行いたしません。(出席簿と受講者各自の管理)

2020年度収支報告 および 2021年度収支予算 比較表

	(2020年度実績)	(2021年度予算)
収入総額	12,079千円	12,587千円
支出総額	11,232千円	12,402千円
収支差額	847千円	185千円

I. 収支明細表

(単位:千円・%)

	2019年度	2020年度				2021年度	備 考
	実績額	予算額	決算額	予算差異	予算対比	予算額	
【収入の部】							
1. 割戻収入	2,136	1,978	2,070	92	104.7%	2,100	年会費戻 @2,000
2. 事業収入	11,675	9,519	9,414	-105	98.9%	10,487	
①講座受講料	7,132	4,274	4,614	340	108.0%	5,512	資格講座
②研修受講料	2,332	2,079	1,876	-203	90.2%	1,675	各研修会 他
③認定受講料	1,945	3,006	2,723	-283	90.6%	3,300	認定試験
④TA資料収入	266	100	201	101	0.0%	0	書籍等 斡旋販売
⑤諸活動収入	0	60	0	-60	0.0%	0	
3. 寄附金受入	0	0	0	0	0.0%	0	
4. 会員集会収入	0	0	0	0	0.0%	0	
5. 雑収入	81	0	595	595	0.0%	0	持続化給付金、家賃支給給付
6. その他収入	0	0	0	0	-	0	
当期収入合計	13,892	11,497	12,079	582	105.1%	12,587	
【支出の部】							
1. 事業活動費	9,759	6,061	5,791	-270	95.5%	5,533	
①講座運営費	4,237	3,229	2,780	-449	86.1%	3,191	会場使用料
②研修運営費	2,307	967	1,138	171	117.7%	477	講師料
③認定講座費	857	1,265	663	-602	52.4%	1,265	資料印刷費 他
④TA資料費	948	0	602	602	0.0%	100	本部仕入 支部作成費
⑤諸活動費	0	0	0	0	0.0%	300	県別、諸活動、活動集
⑥会員集会費	1,110	300	69	-231	23.0%	200	会場使用料 資料費
⑦広報活動費	300	300	539	239	179.7%	0	HP、メルマガ、案内 他
2. 事業管理費	9,977	5,290	5,441	151	102.9%	6,720	
①人件費	5,543	1,857	2,290	433	123.3%	2,700	事務職員給与 他
②会議費	141	70	24	-46	34.3%	100	運営委員会 他
③旅費交通費	1,267	653	474	-179	72.6%	700	
④通信運搬費	316	320	267	-53	83.4%	264	
⑤消耗品費	50	0	62	62	0.0%	100	
⑥印刷費	98	20	48	28	240.0%	100	チラシ 他
⑦水道光熱費	250	250	247	-3	98.8%	243	
⑧賃借料	1,204	1,213	1,286	73	106.0%	1,213	事務所賃料 他
⑨備品費	271	100	11	-89	11.0%	300	
⑩雑費	837	807	732	-75	90.7%	1,000	リース料 振込手数料 他
3. 寄附金支出	0	0	0	0	0.0%	0	
4. その他支出	-61	0	0	0	0.0%	149	納税引当金
当期支出合計	19,674	11,351	11,232	-119	99.0%	12,402	
当期収支差額	-5,783	146	847	701	-	185	
前期繰越額	13,630	7,847	7,847	0	100.0%	8,694	2020年度より
次期繰越額	7,847	7,993	8,694	701	90.8%	8,879	2022年度へ

※2020年度の決算額は税金計上前の数字を示す。

貸借対照表

(2021年03月31日現在)

(単位:円)

資産の部		負債の部	
現金	34,829	未払金	377
普通預金	3,482,349	預り金	源泉税 26,731
郵便振替預金	4,662,422	仮受金	59,345
仮払金	133,169	小計	86,453
保証金	467,500	正味財産の部	
		前期繰越正味財産	7,846,645
		当期正味財産増加額	847,171
		小計	8,693,816
合計	8,780,269	合計	8,780,269

上記の通り、報告します。

2021年5月2日

関東支部・支部長

金沢 治子

㊞

監査報告

関東支部・支部長 金沢 治子様

2020年度における当支部の収支決算を監査したところ、適正に処理されており、公正にして妥当なものと認めます。

2021年5月2日

監事

村越 章裕

㊞

監事

伊東 一郎

㊞

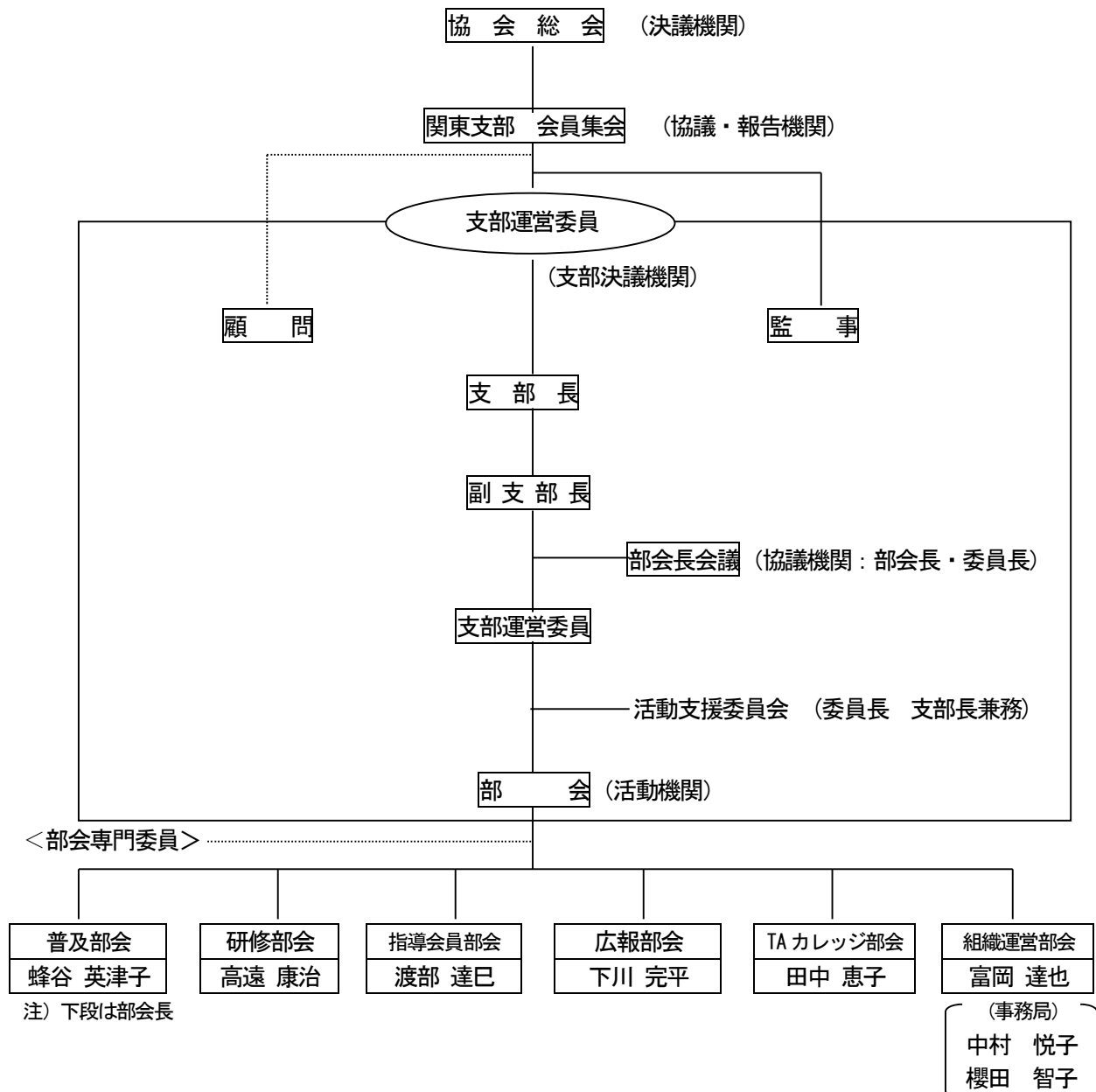
支部 運営委員 ・ 監事 ・ 顧問 名簿

【任 期 (2年間)】 2020年4月1日から2022年3月31日

【執行体制】 支部長 (金沢治子) 副支部長 (部会長兼務) 代表監事 (村越章裕)

<運営委員>	相原悦子	青木智子	秋山壽美雄	伊藤順一	大槻美奈子	奥田英二	
	金沢治子	金子万里子	木村光伸	小森洋幸	雑賀明良夫	佐々本良二	
	下川完平	高遠康治	田中恵子	丹あや子	富岡達也	蜂谷英津子	
	丸山昌志	三澤多恵子	矢崎義樹	渡部達巳			22名
<監 事>	村越章裕	伊東一郎					2名
<顧 問>	池上岩男 (准教授)	小川正治 (教授)	小林雅美 (教授)	下平久美子 (教授)			4名
(本部役員)	理事：下平久美子	下川完平	金沢治子	監事：井手之上 修			

2021年度 関東支部 機構図



関東支部 県別 資格別 会員数

1. 資格別会員数

	教授	准教授	インストラクター	1級	2級	会員	合計
東京都	2	5	72	105	69	31	284
	2	6	75	111	74	21	289
神奈川県	1	5	68	91	63	20	248
	1	5	71	95	61	23	256
千葉県	1	1	31	22	23	10	88
	1	1	29	23	23	10	87
埼玉県		1	20	20	13	12	66
		1	22	19	17	7	66
茨城県			11	16	14	1	42
			15	18	16	1	50
群馬県		1	12	10	12	0	35
		1	14	11	14	1	41
栃木県			8	21	15	3	47
			8	20	19	2	49
山梨県		2	3	12	4	2	23
		2	5	12	5	2	26
長野県		1	38	59	51	18	167
		1	37	56	51	28	173
計	4	16	263	356	264	97	1,000
	4	17	276	365	280	95	1,037
北海道			12	21	9	8	50
			12	23	11	8	54
合計	4	16	275	377	273	105	1,050
	4	17	288	388	291	103	1,091

注) 上段:2021年3月 現在

下段:2020年3月 現在

2. TAカレッジ・TA子育て支援士・TA心理カウンセラー

	TAカレッジ	TA子育て支援士	TA心理カウンセラー		TAカレッジ	TA子育て支援士	TA心理カウンセラー
東京都	5	7	13	栃木県	2	1	2
	5	8	12		2	1	2
神奈川県	7	7	11	山梨県	0	0	1
	5	6	9		0	0	1
千葉県	2	7	5	長野県	5	20	15
	0	6	4		5	21	11
埼玉県	3	1	1	計	28	45	52
	3	0	1		23	46	43
茨城県	4	1	2	北海道	4	3	1
	3	1	1		3	3	1
群馬県	0	1	2	合計	32	48	53
	0	3	2		26	49	44

注) 上段:2021年3月 現在

下段:2020年3月 現在